

## JGN イベント利用報告書

イベント番号(イベント-088)

提出日 平成 17 年 12 月 1 日

### (1) イベント名

南海地震に備えた情報化まちづくりシンポジウムにおける映像伝送

### (2) イベント概要

本イベントは、近い将来発生が予想されている南海地震に向けて、被害状況の迅速な収集・把握、住民への円滑な周知、情報提供などにおいて、ICTがどのように自治体や住民のために役立つことができるのか、現在の取り組み状況を紹介し参加者の防災意識の高揚を図るために開催されたものである。

四国総合通信局及びJGN 四国連絡協議会では、この機会をとらえ、地方自治体、電気通信事業者、市民団体など防災関係者に対し、防災面での技術開発への利活用が可能なJGN をPRするために、プログラムの中で実際に会場と新潟大学との間をJGN で接続しDV映像伝送により、中越地震体験について遠隔講演を行っていただくとともに、JGN についての説明を行った。

- 日時等 平成17年10月23日(日) 10:00~12:00  
サンポート高松 かがわ国際会議場(香川県高松市)
- 主催等 主催: 総務省四国総合通信局、香川県、中央非常通信協議会  
後援: JGN 四国連絡協議会

#### 3 プログラム

##### パート 基調講演

- ・基調講演 (JGN による遠隔講演)

演題「災害時の情報の大切さ」

講師 新潟県長岡市 商工部商業振興課長 金子 淳一氏

- ・基調講演

演題「南海地震等に備えた情報通信基盤整備を目指して」

講師 四国総合通信局無線通信部長 伊形 仁宏

##### パート パネルディスカッション

コーディネータ 香川大学 工学部 教授 長谷川修一氏

パネラー 高松地方気象台防災調整官 熊野屋 宏氏

香川県 総務部防災局長 細松 英正氏

三野町 総務課副主幹 齋藤愛一郎氏

西日本放送 報道制作部記者 吉田 剛氏

ドコモインフラック 四国社長 喜田 信吾氏

丸亀市川西地区連合自治会 岩崎 正朔氏

四国総合通信局無線通信部長 伊形 仁宏氏

##### ディスカッションテーマ

情報は災害発生時に何ができるか!

災害時のスムーズな行動を支えているのは何か!

防災意識とコミュニケーション

南海地震に備えた情報化まちづくりとは!

### (3) JGN 利用の概要

かがわ国際会議場(香川県高松市)から香川AP(四国-4)を経由して、新潟大学会議室(新潟県新潟市)をL2接続し、DVTSによるユニキャストで映像伝送(双方向)を行った。

(4)申請者(イベントの責任者)

所属機関： 総務省四国総合通信局

(5)イベントの利用にかかる連絡窓口

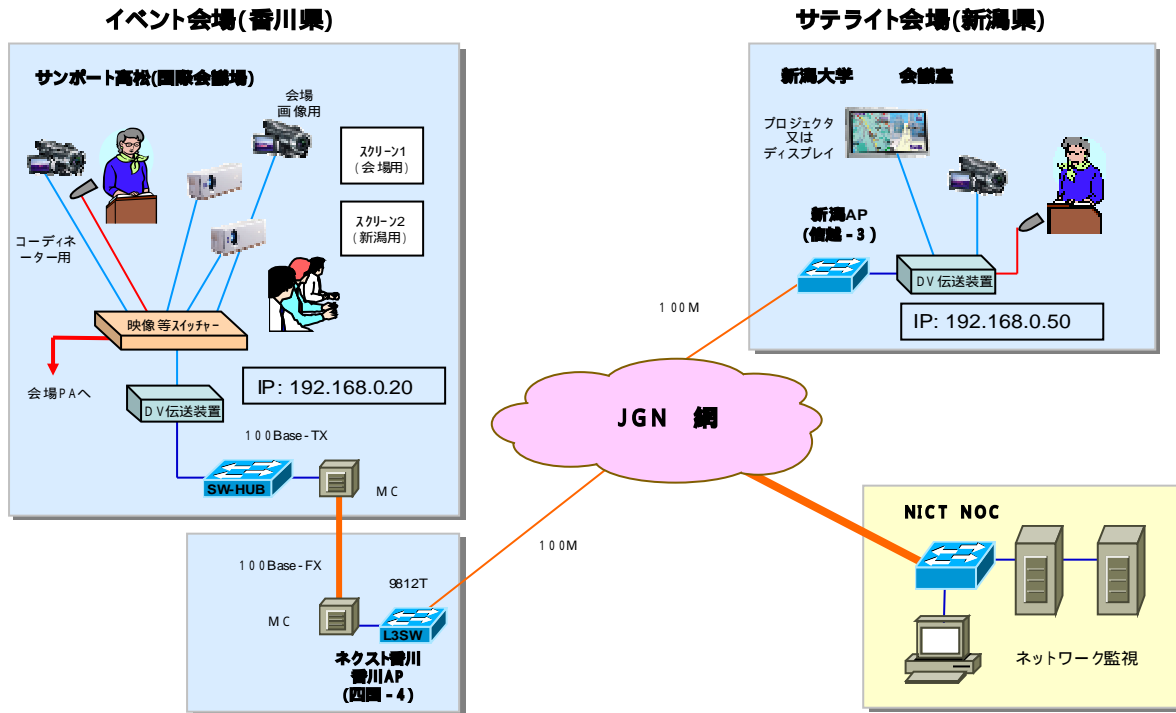
(NICT からイベント利用について連絡させていただく際の担当者)

所属機関： 総務省四国総合通信局

(6)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア.接続概念図

### 南海地震に備えた情報化街づくりシンポジウムネットワーク構成案: L2/uni-cast



(7)出席者数

320名

## (8)実施の評価

### ア 評価

現在、国や自治体が整備している災害時の情報通信ネットワークは、防災行政無線や衛星回線を中心とした無線回線が整備されているが、被災情報の迅速な把握など高品質な映像伝送ニーズはあるものの実際には伝送帯域が狭いため実現は難しく、また無線IP伝送技術の開発についてはまだ端緒についたばかりの状況にある。

今回、防災関係者の中にはJGNによる映像伝送を初めて体験した方々も多く、高精細なDV映像伝送が可能なネットワークについて驚くとともに、災害時における有線・無線ネットワークの利活用について、技術開発環境を提供するJGNについて大きな関心を持っていただけた。

### イ 開催模様

